

## 良識ある社会人としての道徳観念・生活態度の習得項目：評価

指導目標	自立した社会人としての態度・考え方を身に付けること。		初期評価	最終評価
道徳観念	01道徳とは	人間としての行動規範、物事の善悪をわきまえて行動すること。		
	02倫理意識	社会における行動規範、人として守るべき道、モラル等の理解。		
	03感謝の心	生きられること、親、家族への感謝の気持ちを持つこと。		
	04思いやり	他人を思いやる気持ち、家族、友人等へ愛情を持ち接する。		
	05心の持ち方	一度の人生をいかに輝かせるか、精一杯に生きるか。前向きに生きる、明るく生活する。		
社会人として役割	06国民の義務	憲法に定める、教育、勤労、納税の義務。		
	07家族の中での役割	親孝行、助け合い、希望、安らぎ、子供としてやるべきこと。		
	08社会の中での役割	社会人としてどのように行動することが求められるか。必要な態度、行動を身に付ける。		
自立した社会人として	09社会人としての行動とは	社会における成熟した言動や振る舞いとは、社会に貢献できる人になるには		
	10勤労の大切さ	勤労によって人は成長して、人格を形成していく。文化的生活を確保するための基盤		
	11社会における協調	社会人の一員として生活するにはどのような心掛けが必要なのか。		
	12エチケット・マナー	社会人としての一般的なエチケット・マナーの習得。礼儀作法		
	13健康への配慮	健康的な生活を保持するための食事、運動の実施。衛生的な生活環境の保持		
	14メンタルヘルス	ストレス解消、メンタルヘルスへの対応、サポート・アドバイス。		
	15文化的な生活	自己啓発の重要性の認識、資格・試験の取得等。清掃、整理整頓		
	16社会奉仕・貢献	社会参加の意義、社会と交流することにより視野を広め、豊かな人生につながる。		
その他	17女性として	魅力ある女性としての態度、立ち振る舞い、考え方、社会の立場。		
	18経済観念	清廉かつ堅実な生活態度を保持すること。		
自立した社会人としての生活態度・行動				
総合評価点数				